

アートをおく3

ワークショップ&トーク

京都精華大学 展示コミュニケーションセンター企画

「インストーラー」が、セイカのみなさんの「展示」について考え、協働します

●ワークショップ期間

2023年9月7日(木)・8日(金) 11時~17時

●ビューイング期間

2023年9月9日(土)~15日(金) 11時~18時

*9月10日(日)休場

●会場 京都精華大学ギャラリーTerra-S A区画

●対象 京都精華大学の学生・教職員35名程度

作品を展示するとき、どうやったら作品をより良く見せられるのか、あるいは何が正解なのか、悩んだことはありませんか？本イベント「アートをおく3」では、作家という立場のみならず、作家と協働して美術館やギャラリーでのインストール作業に携わる「インストーラー」のプロの視点から、作品を展示するということはどういうことなのかを考え、実践するワークショップを開催します。作品をうまく展示するテクニックやノウハウは勿論のこと、展示という行為への批評的な観点もまた、アーティストや美術に関わる人間には重要なものです。ギャラリーTerra-SのA区画を利用して開催される本イベントを通じて、「表現」への深い視野を養い、みなさんの今後の活動に活かす方法を探ってみましょう。

●ゲスト

武田俊彦

美術家/インストーラー/タケダ工作所代表

齋藤雅宏

京都精華大学ギャラリーTerra-S展示コーディネーター

●企画 豊永政史/宮永亮

●申込方法

Googleフォームでお申込みください。50名程度の定員を設けますので、先着順にての決定となります。ビューイングは申し込み不要です。感染症の状況により、人数制限や開催形態の変更などのお知らせを申込者の方にご連絡する場合があります。

※締切2023年8月31日(木)まで

●主催 京都精華大学展示コミュニケーションセンター

●お問合せ akiram@kyoto-seika.ac.jp(伊原 寛水)

申込フォーム

